

# とうきょうすくわくプログラム活動報告書

施設番号	66-0959
施設名	うめのき保育園
施設所在地	小平市鈴木町2-186-4
法人名	社会福祉法人小松福祉会

## 1. 活動のテーマ

〈テーマ〉

積み木遊び

〈テーマの設定理由〉

積み木遊びを通して、自分の世界観を表現したり、対話を通じて友だちとイメージを共有しながら遊び、表現する。このような遊びを通して、自分を取り巻く環境を認識していく。

## 2. 活動スケジュール

春～冬

## 3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

積み木や、組み合わせて遊べる道具。友だちとの共通体験や、探求心を刺激するような活動の設定。

## 4. 探究活動の実践 (活動の実践)

### つみきあそび1年の変化

以前から積み木は子どもたちに身近な遊具として工夫しながらミニカーや動物のフィギュアを組み合わせ町や水族館などを作って楽しんできました。子どもたちの「もっと積み木を使いたい」という声から積み木の量・種類を増やす、空間を広げるなど環境を提供することで積み木遊びがどのように思考し、展開するのか様子を観察してみました。

#### ①春

積み木でミノ倒し。倒れないよう長く並べる、曲がるように並べる、段差を作って倒れるようにするにはどうしたらいい？と何度も試しながら友達と協力して作っていました。

②ゲーム(マインクラフト)を見ている子どもたちがイメージしながら多量の積み木を平面に並べ場所を作り、キャラクターも再現していました。



#### ③秋

積み木ショーを見学し、積み木おじさんのように積み木でショーができることを知りショーの再現したり、違う形の積み木や色の組み合わせにも着目し構築することを楽しむ姿が見られました。



⑤冬

年中、少児も影響を受けたたくさんの積み木で作ってみたいと挑戦するようになりました。その日によってタワーのように積み上げたり、壁のようなものを湾曲状に積み上げてみたり友達と協力して創意工夫する姿が見られました。



⑥クラス懇談会では保護者の方にも子どもたちがどのように考え指先を使い、協力し作っているのか、子どもの気持ちになって実際に体験してもらいました。



⑦積み木の組み合わせや扱いに慣れ、「大きな町にしてみたい」「いつも行くお店を再現してみたい」とアイデアが次々とでてきて出来たもので遊ぶ姿が見られました。



《担任の気付き》

積み木は小さい頃から触れ遊ばれている遊具の一つですが、それぞれ表現したいものを試行錯誤しながら遊ぶことで数や角度、色の組み合わせなどを自然な形で感じ取り、友達と伝え合い協同しながら作る事でたくさんの広がりや変化が見られました。子どもの目線で捉えた構築や色の組み合わせには私たちもたくさん学ばせてもらいました。今回は積み木ショーを皆で体験できた事でさらに刺激になり今までになかった積み方、組み合わせを真似しながらクラス全体で積み木を楽しむ事ができました。